

■活動開始年月: 2021年7月 ■企業ボランティアの人数(実数): 69人(家族を入れると129人)

### ■BNP パリバの『1MillionHours2Help』

BNP パリバは世界を代表する金融機関のひとつです。BNP パリバでは昨年から『1MillionHours2Help』と題して、グループ全体の約20万人が100万時間をボランティアに費やす活動に取り組んできました。2021年には日本でも多種多様なイベントを企画し、コロナ禍でも安全に実施できる11種類のボランティア、合計1,800のボランティア時間に取り組みました。その中でも一番力を入れたホスピタルアートの活動についてご紹介します。

### ■BNP パリバ、医療従事者や患者さんの心を癒やす“ホスピタルアート”プロジェクトを支援

「病院×地域×大学×アーティスト×企業 CSR」が協働する、日本のホスピタルアート文化推進の新しいかたち

日本における BNP パリバ・グループは、ホスピタルアートの研究と普及に取り組む徳島大学大学院社会産業理工学研究部准教授の田中佳氏と、マスキングテープを使った作品で多方面で活躍するアーティストの西村公一氏のお二人と協働し、徳島県内の病院にホスピタルアートを制作・寄贈するプロジェクト『ひびきあうハート ～マスキングテープに乗せる思い～』に取り組みました。

医療機関や福祉施設にアートを取り入れることで、そこに働く人々や利用者の心に作用し、癒しや力を与える“ホスピタルアート”は、欧米ではその効果が認められ、すでに広く普及しています。日本でのホスピタルアート普及に取り組む「Tokudai Hospital Art Labo」では、2018年より、田中准教授を中心に同大の教員と学生の方々がホスピタルアートの制作活動に取り組んできました。



病院ごとに異なる環境や条件への適応と、アートとしてのクオリティを両立するという難しい挑戦の中で、制作に関わる人々のスキル向上と社会におけるホスピタルアートの認知を高める必要性という課題に直面したことが、このプロジェクトが生まれたきっかけでした。

「プロのアーティストと協働することで、新たなアイデアや技術を開拓し、より完成度の高いホスピタルアート制作に取り組みたい。さらに、企業が持つ規模や発信力が加わることで、ホスピタルアートの普及を加速させ、より多くの病院利用者に力を与えたい」という田中准教授らの想いに賛同し、BNP パリバ・グループは、CSRの一環として本プロジェクトを支援することを決定。また、社員がボランティアとして制作に関わる仕組みを提案したことで、プロジェクトはさらなる広がりを見せ、『ひびきあうハート ～マスキングテープに乗せる思い～』という形で展開する運びとなりました。

という田中准教授らの想いに賛同し、BNP パリバ・グループは、CSRの一環として本プロジェクトを支援することを決定。また、社員がボランティアとして制作に関わる仕組みを提案したことで、プロジェクトはさらなる広がりを見せ、『ひびきあうハート ～マスキングテープに乗せる思い～』という形で展開する運びとなりました。

### ■社員と家族が作る小さなハートを、アーティストの手でひとつの大きなハートに。

#### コロナ禍で疲弊する医療現場にエールを届ける

対面による活動が制限される中、アーティスト・西村公一氏によるオンラインワークショップが開催されました。グループ社員とその家族129名に加え、「Tokudai Hospital Art Labo」で活動する学生および地域の方々も参加し、西村氏がセレクトした色とりどりのマスキングテープを用いて、病院に関わるさまざまな人に思いを巡らせながら、約250点の小さなハートを制作しました。これらを集め、西村氏と徳島大学の学生の手によって大きなハートの作品に創り上げられ、2021年秋に、徳島赤十字病院(徳島県小松島市)に寄贈されました。この活動については、NHKや新聞などで数多く取り上げられました。

○徳島赤十字病院 後藤院長：

「すばらしいの一言に尽きる。ハートは普遍的なものであるが、構造がユニークで魅力的。先進性を理念とする私たちの病院にふさわしいアートを導入してもらうことができた。」

○参加した社員・家族：

「ボランティアの枠を超えた活動であった」

「作業自体がシンプルなので、子供も含めて誰でも参加しやすかった」

「複数の参加者とオンライン上で一緒に作業することができて楽しかった」

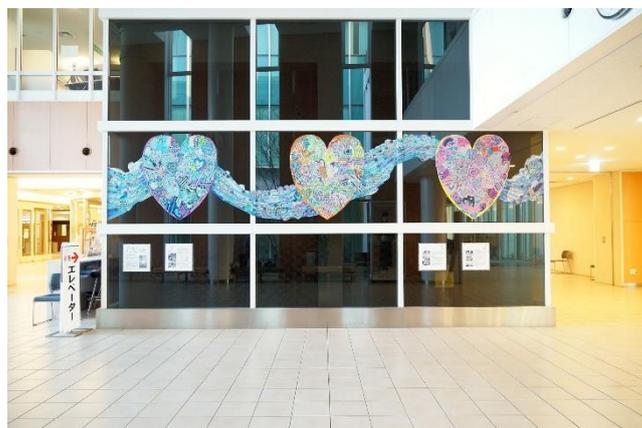
「病院で治療を受けている人たちがアート見たさに自分で階段を上がるようになったなど、アートが人の心を動かし、病気にも良い影響があるということを知ることができてよかった」

「最終的に出来上がった大きな作品が素敵なので、皆で協力すると立派なものができるということが実感できた」

■今後の展開：

今回のプロジェクトで大学・アーティスト・企業間のコーディネートを務めた合同会社アプリュスセーの入澤さんと徳島大学の田中さんとの、徳島以外の地域でも今回のような形でのホスピタルアート導入支援・推進を行う NPO を立ち上げる準備を進めているとのこと。

BNP パリバは今後もホスピタルアートを全国に普及するお手伝いを、金銭的な支援のみならず、社員によるボランティアも含めて行っていきたいと考えています。



第7回企業ボランティア・アワード「インクルーシブ社会」奨励賞